

平成21年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(平成20年度対象)

平成21年8月

高梁市教育委員会

## 目 次

1	はじめに	1 頁
2	教育委員名簿	1 頁
3	教育委員会議の開催状況	1 頁
4	教育委員会での審議状況	1 頁
5	教育委員会に関わるその他の主な活動状況	2 頁
6	教育委員会における事務の点検及び評価	
	(1) 平成20年度基本方針及び教育行政重点目標	3 頁
	(2) 教育行政重点目標の施策体系	4 頁
	(3) 教育行政重点目標の主な事業の点検及び評価の結果	
	1 「生きる力」を育む学校づくり	5 頁
	2 人づくりのための学習環境づくり	9 頁
	3 心豊かな人づくり、活力のあるまちづくりをめざした生涯学習の推進	11 頁
	4 暮らしの中にスポーツを／いつでも、どこでも、気軽に	17 頁
	5 歴史と伝統を生かした地域文化の創造と人を育むまちづくり	22 頁

## 1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月からすべての教育委員会が、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、市民へ公表することになりました。

高梁市教育委員会では、地教行法の規定に基づき、今後の効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民の皆さまへの説明責任を果たすことを目的として、教育行政の基本方針や重点施策として定めている「教育行政重点目標」をもとに、平成20年度に重点的に取り組んだ事業について点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

## 2 教育委員名簿（平成20年4月1日現在）

職名	氏名	委員就任年月日	任期満了年月日
委員長	江草正光	平成16年10月1日	平成22年11月15日
職務代理者	長船勝巳	平成16年10月1日	平成20年11月15日
委員	保田貴子	平成16年11月16日	平成21年11月15日
委員	山下里絵	平成19年11月16日	平成23年11月15日
委員（教育長）	西井節壽	平成16年11月16日	平成20年11月15日

## 3 教育委員会議の開催状況

教育委員会議については、原則として毎月1回定例会を開催し、また必要に応じて臨時会を開催しています。平成20年度は定例会12回、臨時会を3回開催しました。

## 4 教育委員会での審議状況

地教行法第26条及び高梁市教育委員会事務委任規則の規定に基づき、平成20年度は合計59件について審議しました。

- (1) 教育行政に関する基本的な方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・5件
- (2) 教育委員会規則等の制定又は改廃・・・・・・・・・・・・・・・・・・15件
- (3) 教育予算その他議会の議決を要する議案に関する事・・・・・・・・8件
- (4) 職員（教職員を含む）の人事に関する事・・・・・・・・・・2件
- (5) 法令又は条例等に定めのある付属機関の委員の委嘱・・・・・・・・17件
- (6) 教科書の採択に関する事・・・・・・・・・・・・・・・・・・4件
- (7) 通学区域の設定又は変更に関する事・・・・・・・・・・5件
- (8) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3件

## 5 教育委員会に関わるその他の主な活動状況

年 月	教育委員が出席した活動等
平成20年4月	・幼稚園入園式、小・中学校、市立高校入学式
5月	・学校訪問（小学校9校、中学校1校訪問） ・教育施設視察（神原スポーツ公園等6箇所） ・高梁・新見地区教科用図書採択市町村教育委員会協議会
6月	・市議会6月定例会
7月	・高梁・新見地区教科用図書採択市町村教育委員会協議会
8月	・子育てふれあいフェスティバル
9月	・幼稚園、小・中学校、市立高校運動会 ・市議会9月定例会
10月	・幼稚園、小学校、市立高校運動会
11月	
12月	・市議会12月定例会
平成21年1月	・成人式 ・市長との懇談会 ・国民文化祭実行委員会
2月	
3月	・幼稚園、小・中学校、市立高校卒業式 ・市議会3月定例会 ・高梁市国際交流協議会理事会

## 6 教育委員会における事務の点検及び評価

### (1) 平成20年度基本方針及び教育行政重点目標

社会環境が大きく変化する中で、学校教育をはじめとして、生涯学習やスポーツ、文化芸術活動はますます重要なものとなり、その果たす役割に大きな期待が寄せられています。

特に、本市においては、教育関係の全ての分野において、こうした変化に適切に対応し、生涯にわたり心豊かに、たくましく生きていく意欲と、実践力を備えた、新時代を担う人間の育成が最も重要となっています。

高梁市総合計画では、「交流・創造都市 たかはし」を将来の都市像とし、その実現のため「文化を育み健やかで活力のあるまちづくり」を基本理念として諸施策を推進しています。この基本理念に基づき、高梁市教育委員会は平成20年度において、学校教育、家庭や地域社会の教育、スポーツや、それぞれの地域の特色ある文化芸術活動の活性化など、生涯学習社会の実現に取り組むため、「新しい文化の創造と人を育むまちづくり」を基本方針として、次の5項目を重点目標に、総合的な取り組みをします。

- 1 「生きる力」を育む学校づくり
- 2 人づくりのための学習環境づくり
- 3 心豊かな人づくり、活力のあるまちづくりをめざした生涯学習の推進
- 4 暮らしの中にスポーツを／いつでも、どこでも、気軽に
- 5 歴史と伝統を生かした地域文化の創造と人を育むまちづくり

子どもたちが、自ら学び、自ら考える力や、心豊かな人間形成など「確かな学力」や「生きる力」を育む学校づくりのために、子ども一人ひとりを大切に、基礎・基本の確かな定着を図りながら、青少年の健全育成の取り組みを進めます。

また、生涯にわたって主体的に学習できる生涯学習社会の形成を目指し、体系的・効果的な支援と推進を図ります。

文化行政では、平成22年度開催の「第25回国民文化祭・おかやま2010」に向けて、情報収集に努めるとともに、高梁市実行委員会の設置や事業別実施計画の策定等を進めます。そして、備中松山城や吹屋伝建地域など、地域固有の歴史遺産や伝統文化の保護・保存とその活用を進めるとともに、公民館活動の積極的な展開を図りながら地域の文化芸術振興にも取り組みます。

さらに、近代高梁人物記念館（仮称）整備に向けた調査・研究を始め、新高梁市立高等学校の開設準備に引き続き取り組み、公教育の充実のため、教育環境と教育効果の向上を目指します。また、スポーツ振興計画を基に、スポーツ施設の充実に向けサッカー場等多目的広場の施設整備に着手します。

これらの諸施策の推進にあたっては、関係機関や地域などとの連携を一層緊密にし、広く市民の参画と理解、協力を得ながら、積極的に進めます。

(2) 教育行政重点目標の施策体系

基本理念	基本方針	重点目標	施策
文化を育み健やかで活力のあるまちづくり	新しい文化の創造と人を育むまちづくり	1 「生きる力」を育む学校づくり(「確かな学力向上」と「豊かな心の育成」)	教育内容・方法の充実(確かな学力向上)
			生徒指導の充実(心の教育の推進)
		2 人づくりのための学習環境づくり(学習環境の整備)	学校(園)施設の整備
			学校(園)設備の整備
		3 心豊かな人づくり、活力あるまちづくりをめざした生涯学習の推進(生涯学習の推進)	生涯学習の振興
			家庭・地域社会の教育力の充実と連携
			社会教育団体の育成
			人権教育・啓発の推進
		4 暮らしの中にスポーツを／いつでも、どこでも、気軽に(スポーツ活動の振興)	市民のスポーツ・レクリエーションの推進と健康づくり
			スポーツ施設の整備
		5 歴史と伝統を生かした地域文化の創造と人を育むまちづくり(地域文化の振興)	芸術文化活動の普及と振興
			文化財の保護・保存
			文化施設の充実

### (3) 教育行政重点目標の主な事業の点検及び評価の結果

#### 《重点目標》1 「生きる力」を育む学校づくり

(「確かな学力向上」と「豊かな心の育成」)

##### ○重点目標の概要

学校教育は、一人ひとりの子どもたちが、生涯にわたって学び続けるための基礎を培う場である。学校・家庭・地域社会との連携のもとに、自ら学び、自ら考える力や豊かな人間性など「生きる力」を育む学校づくりを推進する。そのため、次の2点に重点をおく。

①子ども一人ひとりを大切にしたきめ細かな指導により、確かな学力の向上に努める。

②人とかかわり、直接自然に触れて学ぶ体験活動等の充実を図ることにより、豊かな心を育む。

さらに、各学校の主体的な学校運営により信頼される学校づくりに努めるとともに、創意工夫を生かした教育活動を展開していく。

#### 〈施策〉教育内容・方法の充実（確かな学力向上）

事業名	事業実施目標	成果・課題等
魅力ある保育・授業づくりの推進 【学校教育課】	①幼稚園教育課程研究園として高梁南幼稚園を指定。研究発表会に向けた指導訪問を行う。(5回/年)  ②学力向上と教育課程の工夫のため、「授業改革」支援授業(巨瀬小学校・算数と国語の研究)、へき地教育研究会(中井小学校・算数、特別活動)を実施し、授業研修や研究授業に出向き、基礎基本の充実、自ら学ぶ力を培う研究を深める。  ③文部科学省指定の道徳教育実践研究事業(成羽中学校)への指導訪問を行う。(3回/年)	①「環境を通して行う教育」について研究を深め、地域と園、家庭の連携のもとに3年保育の良さを活かした成果が得られた。  ②研究計画に基づいたほぼ予定通りの取り組みができ、授業改善、個に応じた指導の研究を深めることができた。  ③指導訪問では授業研修を中心に実施できた。体験活動と道徳の時間との連携をテーマに、道徳教育の推進について、研究を深めている。来年度も継続して行う。
指導と評価の一体化による個に応じた指導の充実 【学校教育課】	①少人数指導の充実を図る。(加配教員配置校;高梁小、落合小、成羽小、高梁中)  ②幼稚園から小学校への連携をスムーズにするために、小1グッドスタート事業を2校で実施する。(高梁小、成羽小)	①個に応じたきめ細かな指導が可能となった。成果の検証並びに習熟度別への移行が課題である。  ②配置により、小学校生活へのスムーズな移行が図られている。

<p>幼稚園教育の充実</p> <p>【学校教育課】</p>	<p>①3歳児保育を12園で実施する。</p> <p>②預かり保育によって、子育て支援の充実を図るとともに、教育課程に基づいた教育活動との関連を深めることを目標に10園で実施する。</p> <p>③幼稚園教育の校内研修の支援として、指導訪問を実施する。(1回以上/年)</p>	<p>①計画通り実施。少人数の園が多いため、集団で活動することや異年齢集団の関係づくりに効果をあげている。</p> <p>②計画通り実施できた。</p> <p>③指導訪問は各園1回実施できた。また、研究園については、要請に応じて訪問し、指導した。幼稚園主任者会(年2回)預かり保育担当者会(年1回)を実施した。</p>
<p>特別支援教育の推進</p> <p>【学校教育課】</p>	<p>①臨床心理士等の学校派遣・特別支援教育コーディネーター研修会(2回/年)を実施する。</p> <p>②特別支援教育支援員を市内3幼稚園、5小学校に1名ずつ配置し、個別の指導の充実に努める。</p>	<p>①②学校園からの要望により発達障害等の専門家を派遣し、校内の体制づくりや指導に関しての助言を得た。計画に基づき、ほぼ予定通りの取組ができた。配慮を要する幼児・児童・生徒が増加している中、支援員の要請は多く、増やしていく必要がある。</p>
<p>保健・安全教育の推進と食の指導の充実</p> <p>【学校教育課】</p>	<p>下記の事業により、保健・安全教育の推進並びに食の指導の充実を図る。</p> <p>①スクールガードリーダー、警察スクールサポーターとの連携を図る。</p> <p>②交通安全教室、防犯教室、薬物乱用防止教室等を実施する。</p> <p>③各給食センターにおける食の安全、食育、地産・地消に取り組む。</p> <p>④学校給食アレルギー対策の推進、充実を図る。</p> <p>⑤栄養教諭、学校栄養士による食の指導を実施する。</p>	<p>①スクールガードリーダー、警察スクールサポーターが学期に1回市内の全校を訪問し、不審者対応や薬物乱用防止等について指導助言をした。今後も安全教育の推進を図る必要がある。</p> <p>②ほぼ計画通り実施できた。</p> <p>③地産地消の取り組みは、給食センターの規模により異なるが、引き続き地元産品の利用促進を図っていく。</p> <p>④保護者、学校と学校給食センターとの連携を進め、一層のアレルギー対応の充実を図っていく。</p> <p>⑤高梁小学校において「食」に関する指導の研究会を実施した。栄養教諭、学校栄養士とのTT(ティーム・ティーチング)による授業公開、研究協議で研究を深めた。今後、栄養教諭の配置を有効に生かしていかななくてはならない。</p>



	⑥学校、家庭、地域が連携した食育から広める生活リズム向上プランの研究を継続実施する。(有漢中学校区)	⑥「子どもの生活リズムと食生活」に関心をもって、その向上を図ることを目標に研究を深め、成果をあげた。
地域に開かれた特色ある学校づくりの推進 【学校教育課】	①地域の人材を活かした特色ある学校づくりを全小中学校で進めるとともに、幼稚園 11 園に広げて実施する。  ②全ての学校で学校評価（自己評価）を行い、その結果を公表し、市教委へ報告する。学校評議員等による学校関係者評価も検討する。	①各校・園が体験活動、地域の方との交流を充実させるために、特色ある授業づくりを活用している。地域の方からも幼児・児童・生徒との交流を楽しみにしているという声が聞かれ、双方にとって有効であり効果をあげている。  ②全ての学校で学校評価（自己評価）を実施し、公表・報告ができた。また、学校関係者評価を進めつつある。
時代の進展に対応した教育の推進事業 【学校教育課】	①情報教育（パソコン活用）研究校として、成羽小学校を指定し研究を深める。  ②市内幼小中高への7名のALT(外国語指導助手)派遣事業を継続し、国際理解教育の推進を図る。  ③環境・福祉教育を各校で推進する。  ④教職員の評価システムにより、授業や校務の職務遂行状況を把握し、当初・中間・最終の3回の面談を実施し、目標管理と勤務評価により適切な指導及び助言を行う。	①「児童の学びを確かなものにするために、ICT(情報通信技術)の活用と効果について」というテーマで研究を深め、研究発表会を3学期に実施した。  ②ALT(外国語指導助手)派遣事業は各校で好評であり、効果を上げている。来年度から、外国語活動を小学校全校で実施する予定であり、事業の継続・充実が望まれる。  ③特色ある学校づくりの活動として、地域の環境問題や高齢者との交流、福祉施設の訪問など各校で工夫した活動が行われ、成果をあげている。  ④すべての県費教職員について、面談による目標管理と勤務評価を実施し、資質向上に成果をあげた。教職員の勤務評価への一層の理解と有効な活用が課題である。
人権教育の推進事業 【学校教育課】	①推進体制の確立と指導内容の充実を図る。  ②各中学校区で教職員研修会等を開催する。	①各校・園において、年間計画に基づいた意図的・計画的な指導を進めた。  ②計画どおり実施することができた。人権教育は全校園における重要課題のひとつと捉え、継続して取り組む必要がある。

〈施 策〉生徒指導の充実（心の教育の推進）

事 業 名	事業実施目標	成果・課題等
学校・家庭・地域社会等との連携による生徒指導の推進 【学校教育課】	①問題を抱える子ども等の自立支援事業を実施する。 ②学校ふれあい促進事業で相談事業を行う。（8回／年） ③スクールカウンセラー（全中学校、1小学校）との連携を図る。 ④スクールサポーターを4中学校に配置する。（高梁中、高梁東中、高梁北中、成羽中）	①学校不適應の児童生徒に、体験活動や学習サポートの場を提供し、学校復帰に向けて一定の成果を挙げている。 ②やすらぎ教室で計画通り実施できた。 ③④については計画通り配置し、効果を上げている。 学校不適應の児童生徒への早期対応が今後の課題である。
心を育てる体験活動等の充実 【学校教育課】	①学校・家庭における読書活動を推進する。 ②学校図書館司書を1名増員し、7校に配置する。 ③全中学校で職場体験活動・チャレンジワーク14を実施する。 ④市内幼稚園、小・中学校の芸術鑑賞推進事業を実施する。	①「読書活動で育てる川上っ子の心と言葉」をテーマに掲げ、川上中学校区を中心に授業研究や「川上読書の日」の設定など研究体制の確立と地域・各校園の連携を深めた。 ②学校における読書活動の推進役として活躍している。有漢中学校区に新たに1名を配置できた。 ③計画通り実施。職場体験活動を通して主体的な進路選択能力を養い、職業の社会的な意義や役割について学ぶことができた。市内での受入事業所の新規開拓が課題である。 ④演劇やコンサートなどに直接ふれることにより、感動的な体験ができた。

重点目標に対する総合評価

前年度に引き続き、本市の子どもの学力向上のために、授業改善や教師の指導力アップに重点を置いて事業を進めてきた。今後も基礎学力の定着、表現力の向上に一層力を入れて取り組む必要がある。また、個に応じたきめ細かな指導を進めるために、習熟度別の少人数指導を推進しなくてはならない。

豊かな心を育む活動については、各校園において意図的・計画的に地域の方々とのふれあいや地域の特徴を生かした体験活動が展開されており、成果をあげている。

生徒指導面では、学校と保護者、地域が一体となった指導が不可欠である。引き続き不登校・いじめ問題をはじめとした生徒指導上の課題に対して、関係諸機関との一層の行動連携を進めなくてはならない。

《重点目標》 2 人づくりのための学習環境づくり（学習環境の整備）

○重点目標の概要

今日の教育事情に積極的に対応でき、機能的で特色を持った学校・園の整備充実を図ることを基本として、緊急度、必要度を見極めながら事業効果等も勘案して整備充実に努める。

また、既存校舎等で相当年数を経過したものについては、年次的に耐震診断を行い、必要に応じて耐震補強や大規模改造事業を実施して校舎の若返りを図るほか、児童・生徒用の机、椅子の計画的整備など学習環境の整備を積極的に推進する。また、AED(自動体外式助細動器)を市内の学校に計画的に配備し、早期に救命処置を行う環境整備を図る。

〈施 策〉 学校（園）施設の整備

事業名	事業実施目標	成果・課題等
学校施設の耐震化事業 【教育総務課】	松原小学校 校舎耐震補強工事 中井小学校 屋体耐震補強工事 松原小学校 屋体耐震補強工事 川上小学校 校舎耐震補強実施設計 富家小学校 屋体耐震診断 高梁南幼稚園 園舎耐震診断 上記事業を実施する。	松原小学校校舎、中井小学校屋体の耐震補強工事は完了。松原小学校 屋体耐震補強工事は中止し、翌年度に持ち越した。また、川上小学校校舎 耐震補強実施設計及び富家小学校屋体、高梁南幼稚園園舎の耐震診断業務については完了。
エレベーター設置事業 【教育総務課】	成羽小学校にエレベーター設置する。	実施設計の遅延により工期の確保が図れず、事業が翌年度へ繰越となった。構造計算事務所の業務渋滞解消が課題である。
学校プール改修工事 【教育総務課】	富家小学校を実施する。	計画通り 20 年度分を完了した。他の小学校のプール改修工事についても、21 年度に継続して実施する。
幼稚園園舎新築工事 【教育総務課】	川面幼稚園を実施する。	川面幼稚園園舎新築工事（保有面積 39.6 ㎡）を完了した。
小中学校トイレの洋式化 【教育総務課】	生活様式の変化に対応し、児童生徒が利用しやすい洋式トイレを整備する。	平川小学校と高梁北中学校の工事を完了し、生活環境整備が図れた。
学校遊具の点検委託事業 【教育総務課】	小学校と幼稚園を実施する。	小学校 21 校、幼稚園 13 園で点検を完了し、遊具修繕の参考資料とすることができた。
その他修繕工事 【教育総務課】	幼、小、中、高の各学校施設内の修繕工事を実施する。	学校からの修繕要望に基づき、緊急性、安全性など事業効果を見極めて実施した。

### 〈施 策〉学校（園）設備の整備

事業名	事業実施目標	成果・課題等
教職員用パソコンリース事業 【教育総務課】	高梁中学校に配備する。	予定通り、パソコン配備（26台）が完了し、校務の効率化や学校運営の高度化が図れた。今後は、残りの学校へ配備し、学校情報セキュリティの徹底を図る。
AED設置事業 【教育総務課】	市内の中学校へAEDを配備する。	全7中学校へ1台ずつ配備し、早期の救命処置を行う環境整備が図れた。来年度は小学校全校へ配備したい。
教育用備品の購入事業 【教育総務課】	高梁中学校へ生徒用の机、椅子を配備する。	市内全中学校へ配備（計737セット）し、学習環境の整備が図れた。

### 重点目標に対する総合評価

<p>児童・生徒等の安全・安心の確保を最優先とし、学校（園）施設の耐震化事業を計画的に実施した。ほぼ予定通り完了し、耐震化率（73.3%→75.6%）の向上が図れ、一定の成果をあげることができた。今後も耐震補強の円滑な実施と老朽施設の的確な対応に努めていく。一部事業が繰越を余儀なくされ、設計委託業務の発注が今後の課題となった。懸案であったプール改修工事を実施し、安全性の確保と快適な環境整備が図れた。トイレを洋式に改修し保健衛生面の整備が図れた。生徒用机・椅子を全中学校へ配備することができて、学習環境整備が図れた。また、AEDを市内全中学校へ配備し、設置施設は元より周辺地域も含め、早期の救命処置を行う環境を整えることができた。</p>
--

《重点目標》3 心豊かな人づくり、活力あるまちづくりをめざした生涯学習の推進  
(生涯学習の推進)

○重点目標の概要

国際化・情報化の進展、生活環境の向上、少子高齢化など社会環境の急激な変化により、心の豊かさや生きがいのための学習ニーズが高まっている。また、いじめや不登校、子育てに悩む親など現代社会の諸問題に対応して、家庭や地域の教育力の向上やネットワークの構築が叫ばれている。

昨年度は、第19回全国生涯学習フェスティバル（まなびピア岡山2007）が岡山県で開催され、高梁市も市町村開催地として、生涯学習の成果や歴史と文化を全国に向けて発信した。今年度はその成果や気運を引継ぎ、公民館活動等を一層充実させ、どこでも、誰でも学習できる生涯学習の機会の提供、家庭・地域の子育てに対する支援、そして、子どもの安心安全、生活リズム向上に対する支援を推進する。また、家庭や地域の教育力の向上に向けて、学校・家庭・地域支援事業の充実を一層図り、人づくり・まちづくりにつなげる。さらに、人権尊重を基調にし、明るく住みよい社会の実現に努める。

〈施 策〉生涯学習の振興

事業名	事業実施目標	成果・課題等
社会教育委員会議 【社会教育課】	年間に取り組む社会教育事業の展開に向け、その方針・施策を示し委員から意見を聴取し、事業に取り組む。	会議を5月に開催し、各委員から平成20年度の事務事業に対し提言や助言を得た。
公民館活動の推進 【社会教育課】	市内の各公民館に運営審議会を設置して事業計画、運営方針等を協議し公民館活動の推進を図る。	各公民館において、それぞれ特色ある講座を開設し、研修活動等が活発に実施できた。全公民館で404講座開設することができた。
高梁市公民館フェスティバル2008 【社会教育課】	市内の全公民館が参加し、生涯学習の成果発表と相互の交流を図る。	市内全15公民館から展示の部へ600点、発表の部へ20組・200名の参加があり、学習成果を発表することができた。 また、2日間の開催で延べ600名が入場し、見学した。
「学びあい、支えあい」地域活性化推進事業 【社会教育課】	国委託事業として、落合地域と宇治地域で歴史学習や美化活動等を通して地域への愛着や住民相互の結びつきを深めるために実施する。	地域の歴史学習や美化活動を通して地域の連帯感が生まれ、地域の自然や資産を守り、それを生かしたまちづくりを進めていこうとする意識が芽生えた。
高梁市魅力再発見事業 【社会教育課】	夏休み期間を利用し、小学3・4年生40人を対象に市内の施設や観光地を見学し、また各種の体験活動を通して高梁の魅力を再発見する。	児童がこれまで知らなかった高梁市の史跡や陶芸体験などを通して高梁のよさを再発見することができた。

<p>成人式運営事業 【社会教育課】</p>	<p>成人の日の前日の半日行事として開催する。市外の方も参加希望があれば受け入れる。成人者による実行委員会を組織し、記念行事を実施する。</p>	<p>記念行事は、この年度、成人となる方が実行委員として自ら進め成人者にとって記念となる行事が実施できた。 (当日出席者 307 人)</p>
<p>生涯学習まちづくり「出前講座」の実施 【社会教育課】</p>	<p>市民の自主的な生涯学習活動を支援するため、市職員が講師となり出向いて話をする。いつでも、どこでも、誰もが学習出来るよう機会の提供を行う。</p>	<p>3 団体、5 回の出前講座を実施した。自主的な講座を行うことで、学習意欲を高めることができた。講座内容の検討・充実を行うことや、他課と連携を行い広報活動に努める必要がある。</p>
<p>童謡まつりイン高梁 【教育委員会高梁分室】</p>	<p>童謡の良さについて、市民をはじめ多くの方に広めるため、市内の合唱団を中心とした童謡の発表会を開催する。また、高梁で生まれた新しい童謡の発表・県外合唱団の招待等を行い、音楽・文化を通して交流の輪を広げていく。</p>	<p>市内全域から 21 団体、市外から招待合唱団 1 団体が参加した。当日は延べ 700 人の参加があり、童謡によるまちづくりを広く周知することができた。今後も、市内全地域にある合唱団の参加により開催していきたい。</p>
<p>高梁の近代とその人物学 2008 【教育委員会高梁分室】</p>	<p>高梁の近代期について歴史文化に対する関心を高めるとともに、この事業に係る団体が相互に連携・協力して、近代の歴史・文化に関し情報発信する。</p>	<p>記念講演には約 100 人が受講した。市の近代化に尽力した人物を顕彰することができた。本事業は平成 19 年度に開催の全国生涯学習フェスティバルの継続事業として開催されたが、事業規模等考慮するとともに毎年開催が相応しいかどうかは課題である。</p>
<p>高梁市うかん生涯学習推進大会 【教育委員会有漢分室】</p>	<p>市民の生涯学習活動を支援するために、生涯学習推進大会を開催する。 実践発表として、有漢公民館で取り組んでいる「放課後子ども教室」の成果と「連続講座」の成果の発表の場として、フルート演奏を発表する。また、桂小金治さんを招き、記念講演を行う。</p>	<p>記念講演を行い、約 270 名の方の参加があった。また、うかん文化祭との連携により、地域の生涯学習活動を支援することができたが、大会スタッフが少ないことや、事業効果、費用対効果を高めるため、今後は市内の近隣地域を巻き込んだ大会運営が必要である。</p>
<p>人づくり講演会 【教育委員会備中分室】</p>	<p>心豊かな人づくり、活力あるまちづくりの一助にするため、講演会を開催する。</p>	<p>多くの参加者が集まり、生涯学習の場としての役割が定着した。 講師：高津住男・真屋順子ご夫妻 演題：『ありのまま、そのままに生きる』 参加者 270 人</p>

〈施 策〉家庭・地域社会の教育力の充実と連携

事業名	事業実施目標	成果・課題等
放課後子どもプラン(国補助)の実施 【社会教育課】	有漢、成羽、川上で放課後子ども教室を実施する。総合的な放課後対策を円滑に実施するために、学童保育関係者、学校教育関係者を含めた運営委員会を組織し、事業の検討及び放課後子どもプランを策定する。	3教室でそれぞれ体験活動や学習支援を行うことができ、参加者から好評を得ている。総合的な放課後対策の指針となる放課後子どもプランを策定し、事業の推進を図ることができた。
地域における家庭教育支援基盤形成事業(国委託) 【社会教育課】	家庭の教育力の向上を目的に、川上地域をモデルとして、きめ細かい家庭教育支援のための相談体制の充実を図る。	子育てサロン「ゆーほー」を中心に、相談事業、交流事業、親育ち子育て講座を年間通じて49回実施し、子育てに悩む親の相談場所としての認識度が上がっている。
子育てふれあいネットワーク事業 【社会教育課】	子育てに関する諸問題を検討し、市民生活部局と連携し子育てサポーターの養成やボランティアを対象とした研修会など必要な事業を実施する。	市民生活部局のブックスタート事業と連携し、読み聞かせボランティア養成事業を実施した。関係者のネットワークの構築が図られ地域教育力の向上につながっている。
わくわく読書まつり2008 【社会教育課】	読書まつりを開催することにより、読書活動の気運を高める。今年度は、絵本作家による講話及びおはなし会などを実施する。	市内の読書ボランティアがおはなし会や展示に積極的に参画し、充実した内容のイベントとなった。来場者数が150人と少なく、周知方法や開催方法を検討する必要がある。
地域どんどん読書実践プログラム(県委託) 【社会教育課】	子どもの読書離れが問題となっているが生活リズムの中で読書が位置づけられるよう実態調査から着手し、読書活動の推進を図る。	実態調査を基に、備中地域で、小学校・公民館・地域の読み聞かせボランティアが連携し、講演会、読み聞かせ会、研修会を行い、読書活動の推進が図られた。
子育てふれあいフェスティバル2008 【社会教育課】	「地域の宝」である子どもたちを、家庭・学校・地域みんなで育てるために子育て関係者が一堂に会し、研修を深め、ネットワークの構築を図る。	「1リットルの涙」の著者木藤亜也の母、木藤潮香さんによる教育講演会を中心に、分科会での研修や子どもたちを対象にした体験活動コーナーを設け、600名の来場者があった。
学校支援地域本部事業(国委託) 【社会教育課】	学校の先生の負担軽減のため、環境整備、安全パトロールや学習活動支援など側面的な学校支援を行う。地域教育力の向上のため公民館を中心とした人的なネットワークを活用する。	学校と地域が綿密に連携することにより、子どもと大人の結びつきが生まれ地域の教育力の向上が図られた。また、教員の業務量も軽減され、本来の職務に専念できている。

<p>食育から広める生活リズム向上推進事業（県委託） 【社会教育課】</p>	<p>平成19年度からのモデル事業として最終年を向かえ、食育を通じた生活リズムの向上を図るために、朝ごはんコンテストの実施及び学校、給食センターや栄養改善委員が連携した取組を行う。</p>	<p>有漢地域での2年間の取組を通じて「食」の大切さを確認し、生活習慣の向上、つまり「生きる力」に繋がることを認識した。朝ごはんコンテストでは86点の応募があり、関心の深さを認識した。</p>
<p>家庭・地域教育講演会 【社会教育課】</p>	<p>子育てふれあいフェスティバル2008事業の一環として教育講演会を実施する。</p>	<p>学校関係者をはじめ多数の聴講があった。講演後アンケートを実施し、それぞれの立場で子育ての大切さを認識することができた。</p>
<p>家庭教育学級・乳幼児学級 【教育委員会高梁分室】</p>	<p>子どもの年代に応じた家庭教育や子育てに悩む保護者の支援を目的に『子育て講座』を開催する。今年度は親子のふれあいと食育をテーマに講座を実施する。また、就園前児童の保護者が一人で悩むことが無いよう保護者同士の交流を目的に『乳幼児学級』を開催する。</p>	<p>子育て講座においては、年2回、親子延べ93名の参加、乳幼児学級については、年13回33家族の参加があった。参加した親子同士の交流や、家庭での子どもとの接し方、遊び方などの学習を通して、保護者の悩みの軽減を行った。今後も継続的に行うことにより、一人で悩むことがないように情報・学習機会の提供と保護者同士の交流を行う。</p>
<p>通学合宿事業 【教育委員会川上分室】  【教育委員会有漢分室】</p>	<p>学校、社会教育機関、地域が連携し、郷土学習と体験活動の充実を目的として川上小学校児童（5年生23名）を対象に夏休み期間中の2泊3日で実施する。主な内容としては、野外活動・ふるさと学習・環境学習などとなっている。</p> <p>子どもの生きる力、自主性・自発性を養うことを目的に5泊6日の期間で、有漢東・西小学校児童の内、希望者15名が公共施設に宿泊しながら学校へ通学する。</p>	<p>郷土の学習や地域の人たちとの交流から多くの事柄を学ぶとともに様々な体験活動から自ら考え、積極的な行動ができるよう生きる力を養った。</p> <p>参加児童、参加保護者共に合宿に参加しないと得られない体験ができたこと好評であった。当該事業効果は高く、他地域でも取り組むことが好ましい。しかし、事業スタッフが少ない為、事業実施者側の負担が大きい。</p>
<p>にこにこファミリースクール（親子体験講座） 【教育委員会川上分室】</p>	<p>親子のふれあいの場、体験活動の場として3日間実施する。内容は、ものづくり・スポーツ活動。</p>	<p>家庭教育の充実を目的に実施し、ある程度の成果は見られる。しかし参加者の減少、固定化などの課題もあり、事業自体の見直しが必要である。</p>



親子ふれあい教室 【教育委員会備中分室】	親子で共に学習する機会として川辺の学習会、親子で楽しむ音楽会、読み聞かせ会を開催する。	親子で自然体験や優れた芸術鑑賞、読書体験等に触れることにより、豊かな感性を育み、情操を養う一助になった。また、子育て中の親同士や地域の人々との親睦が図れた。
-------------------------	---	--

### 〈施 策〉社会教育団体の育成

事業名	事業実施目標	成果・課題等
婦人教育推進事業 【社会教育課】	婦人の教養と地位向上及び地域の活性化に取り組む婦人協議会に対し、一層の活動と健全な運営のために補助金を交付するとともに、研修会及び婦人大会を開催する。また備北地区婦人大会、県婦人大会、役員研修会等に参加する。	研修会・婦人大会等において、会員同士の交流を行うとともに、教養を深めた。また、婦人会の地域における役割は大きく、婦人会の活動は、地域づくりの柱のひとつでもあり、今後も事業を行っていく必要があるが、団体数や会員数の減少などの課題もある。
青少年健全育成事業 【社会教育課】	少年団や青年団への支援として助成金の交付や大会を実施する。	スポーツ活動、体験活動、清掃奉仕活動等を通じて、青少年の健全育成が図られている。また、地域住民との交流が図られ、地域の教育力の向上につながっている。
高齢者学級（いきいき快老教室） 【教育委員会川上分室】	住民福祉課と連携し、高齢者の生きがいづくりとして、要望のある地域で実施する。	2会場で体力テストを行った。 出前講座として実施しているが、定着している地域とそうでない地域があり、PR活動や地域の実情に即した事業内容の検討が必要である。

### 〈施 策〉人権教育・啓発の推進

事業名	事業実施目標	成果・課題等
推進体制の確立（啓発のための調査研究） 【社会教育課】	人権啓発推進委員会を年3回実施し、人権に関わる事業の企画検討、研修会等を実施する。また啓発講演会、リーフレットの作成、視察等の検討を広報啓発専門委員会（年2回）で行う。	「市人権啓発推進指針」に基づき、人権諸事業の具体的方策を示すことができた。また、研修会では、邑久光明園を視察し、ハンセン病に関する人権について、理解を深めることができた。
指導者の養成 【社会教育課】	子どもや女性、外国人などに関する人権問題の解消と指導者養成のため、人権問題学習講座を年6回開催する。	延べ645名が受講し、内4回以上の受講者16名へ修了証書を授与した。毎回100名前後が受講し、市内各地域からの参加があり、事業として定着し、成果をあげている。

<p>人権教育・啓発に関わる諸事業</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>県補助事業として、市内全校園で、PTA 人権教育研修事業、子どものエンパワーメント育成事業や就学前人権教育推進事業などを各校園等で実施する。また、企業人権啓発研修会や啓発ビデオの貸出を行う。</p>	<p>PTA 人権研修会は、全校園で年 1 回実施しており、人権問題に関する認識が深まっている。</p> <p>企業人権啓発研修会を 2 回、啓発ビデオの貸出本数は 15 本であった。</p>
--------------------------------------	--	--

## 重点目標に対する総合評価

<p>平成 20 年度は、家庭・地域社会の教育力の充実と連携を深めるため、子どもたちの総合的な放課後対策として放課後子どもプランの実施、子育てに悩む親の相談体制の充実を図ることを目的に地域における家庭教育支援基盤形成事業の実施、地域教育力の向上と教員の負担軽減のための学校支援地域本部事業の推進、食育から広げる生活リズムの向上推進事業などを実施し、子どもをキーワードに社会教育の推進が図られた。しかし、参加者の固定化や諸事業への無関心な親などへの PR など周知・拡大に努めることが課題である。</p> <p>人権教育啓発事業では、「高梁市人権教育啓発推進指針」に基づき、人権教育推進委員会を核として諸事業の具体的方策を示すことができた。また、指導者養成事業や市内の全校園で取り組んでいる P T A 人権教育研修会については、地道な取り組みが必要であり、今後も継続的に実施していくことが重要であると考えます。</p>
---

《重点目標》 4 暮らしのなかにスポーツをいつでも、どこでも、気軽に  
(スポーツ活動の振興)

○重点目標の概要

生涯スポーツ社会の実現のため、市民が様々なスポーツに触れる機会を提供し、市民生活において、スポーツがより身近なものになるよう支援する。平成19年度末に設立された総合型地域スポーツクラブ「たかはしコミュニティスポーツクラブ<ピオーネ>」の運営を支援し、生涯スポーツに対する市民の意識高揚を図る。また、スポーツ活動をさらに推進するため、中国地区・全県レベルの大会やスポーツ講習会・スポーツ教室など、全市規模の大会・教室の開催を実施する。

国民的スポーツとして人気の高まっているサッカーは、地元大学クラブを筆頭に競技人口が増加してきており、こうしたニーズに対応すべく神原スポーツ公園多目的広場整備を行い、健やかで活力のあるまちづくりを目指す。

また、有漢農村公園多目的広場を硬式及び軟式野球の公式試合が可能な機能アップを行い、地元利用者への利便性を高めるとともにスポーツ施設としての利用拡大を図る。

〈施 策〉市民のスポーツ・レクリエーションの推進と健康づくり

事業名	事業実施目標	成果・課題等
競技スポーツの開催 【スポーツ振興課】	競技力の向上を目指し、高梁市体育協会への委託事業を通して各種競技スポーツ大会を開催する。	高梁市体育協会では、年間45大会を開催し、参加者数は延べ5,500人にのぼる。 「各種競技スポーツ大会」には、多くの参加者が集い、競技力の向上と親睦を兼ねて成果が上がっていると考えられる。 体協各普及推進部においても、多くの競技大会が開催され、多くの参加者を得ることができた。 課題としては、それぞれの大会の自主的・自立的な運営にむけて、ますます努力していくことが求められる。
スポーツ講習会の開催 【スポーツ振興課】	技術の向上を目指して全国レベルのトップ選手を招へいし、各種「講習会」を行う。	○「講習会」 ・「ソフトボールフォーラム」(60名) 上野由岐子、宇津木妙子、宇津木麗華 ・「少年野球教室」(130名) SEB企画(株) ・「ソフトテニス講習会」(75名) 吉備国際大学ソフトテニス部 ・「サッカー講習会」(60名) 吉備国際大学サッカー部

		<p>各種スポーツ「講習会」においては、参加した市民の競技力向上、技術の習得に役立ったという点が一番の成果である。有名な選手の指導を受けたり、基本的な技術を教えてもらったりすることは、その競技をよりよく理解し、スポーツを好きになる動機付けにもつながっている。</p> <p>課題としては、参加する側と、指導する側の日程調整が難しい点である。</p>
<p>スポーツ教室の開催 【スポーツ振興課】</p>	<p>○市民スポーツ団体が指導する各種「教室」を行う。</p>	<p>○「教室」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高年ニュースポーツ教室（4 婦人会 118 名）</li> <li>・硬式テニスなど 7 種目にわたる「スポーツ教室」（264 名）</li> <li>・健康増進施設を使用した「ファミリー水泳教室」（61 名）</li> </ul> <p>課題としては、参加者が固定化してくる傾向にあり、新規参加者が少ないという点が挙げられ、広報活動をしっかりして参加者の掘り起こしをする必要がある。</p>
<p>スポーツ・レクリエーションの推進と健康づくり 【スポーツ振興課】</p>	<p>①生涯スポーツを担う高梁市体育指導員を育成するため、中国体指・全国体指など各種研修会・研究会に参加する。</p> <p>②健康づくりを目的に各種大会を開催する。</p>	<p>①地域の体育振興に体育指導委員が大きく寄与しているが、研修会・研究会、全体での体育行事への参加者が固定している。今後は体育指導委員の人員等を含め、そのあり方について検討が必要である。</p> <p>②健康づくりを目的に各種大会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛らぶ高梁ふれあいマラソン大会 (974 名)</li> <li>・なりわ健康マラソン(492 名)</li> <li>・高梁市ニュースポーツ大会(60 名)</li> <li>・有漢町球技大会(240 名)</li> <li>・成羽町スポーツ大会(407 名)</li> <li>・成羽町グラウンドゴルフ大会(288 名)</li> <li>・川上町ソフトバレーボール大会(150 名)</li> <li>・備中町ソフトボール大会(150 名)</li> </ul>

	③地域交流スポーツ大会を開催する。	③地域交流スポーツ大会を開催した。 ・小学生を対象にした高梁市小学生ドッジボール大会(264名) ・公民館対抗親睦ソフトボール大会 (275名)
大学等との連携 【スポーツ振興課】	吉備国際大学と連携事業した「ジュニアスポーツスクール」を開催する。	吉備国際大学との連携事業として、後期試験の終了時(2月中旬)にあわせ、アーチェリー、柔道、剣道、バドミントンの「ジュニアスポーツスクール」を開催し、総計80名の参加があった。 大学の有能な選手とふれあう機会を提供するという本事業は、高梁市ならではの事業であり、人気も高く、今後も継続発展させていきたい。 大学の試験終了をねらって行う活動のため、どうしても真夏、真冬の活動になるのが今後の課題である。
スポーツ団体等への支援 【スポーツ振興課】	総合型地域スポーツクラブ「たかはしコミュニティスポーツクラブ《ピオーネ》」、高梁市体育協会に対しても幅広く支援を行う。	平成20年3月30日に設立された総合型地域スポーツクラブ「たかはしコミュニティスポーツクラブ《ピオーネ》」は、70人の会員の募集を行い、春秋の2回(ききょうランド、高梁市民体育館)、スポーツフェスティバルや各種教室を開催した。 《ピオーネ》は発足したばかりで、まだまだ組織も脆弱で課題も多く、自主運営できるようにさらに助言や支援を継続して行く必要がある。 高梁市体育協会は年間を通じて多くの大会行事を開催した。各競技種目団体によって、自主運営能力に差があるのが現状であり、今後は種目団体が自主的・自立的に準備・運営できるように支援していく必要がある。
市内各地域のスポーツ施設の活用 【スポーツ振興課】	市内各地域にあるスポーツ施設の積極的な活用を行う。	高梁市民体育館、高梁運動公園、神原スポーツ公園、有漢農村公園、なりわ運動公園、成羽武道館、各市民プールなど多くの施設があり、年間約26万人が利用した。

<p>体育協会の調整</p> <p>【スポーツ振興課】</p>	<p>平成 20 年 3 月 26 日に統合調印した高梁市体育協会の統合協定書に基づく予算や事業の詳細などの調整を行う。</p>	<p>概ね調整は完了したが、組織の強化には課題が残る。特に各競技種目団体の自主運営能力の向上に向けて支援が必要である。</p> <p>また、20 年度からスポーツ少年団本部の組織も加入され、統一が図れた。</p>
<p>スポーツ少年団日独同時交流</p> <p>【スポーツ振興課】</p>	<p>ドイツ団（ザクセン・チューリンゲン）を受け入れ、地元少年団と様々な交流を行う。</p>	<p>8 月 6 日から 10 日（4 泊 5 日）にかけてドイツ団（ザクセン・チューリンゲン）10 人を受け入れ地元少年団と様々な交流を行った。</p> <p>受け入れ家族の選定は難航したが、総じて好評であり、多くの成果があった。しかし、県本部等との連絡連携には課題が残った。</p>

〈施 策〉スポーツ施設の整備

事業名	事業実施目標	成果・課題等
<p>神原スポーツ公園多目的広場整備（サッカー場）</p> <p>【スポーツ振興課】</p>	<p>吉備国際大学や市民から強い要望のある神原スポーツ公園多目的広場（サッカー場）の建設に着手する。</p>	<p>造成工事、人工芝グラウンド整備、フェンス設置工事などを行った。</p> <p>工事着手すると市民から多数の問い合わせがあり、期待の高さが伺える。</p>
<p>有漢農村公園多目的広場整備事業</p> <p>【スポーツ振興課】</p>	<p>硬式及び軟式野球の公式試合が可能な機能アップを行い、地元利用者への利便性とスポーツ施設としての利用拡大を図る。</p>	<p>バックスクリーン及び防球ネット(H=18.0m 112.4m、H=15.0m 61.8m)の建設、フェールボール移設(2箇所)を行った。</p> <p>また、内外野フェンス下部隙間(L=340.0m)の改修も行った。</p> <p>今後の活用幅が増えるとともに、大学、高等学校、中学校、スポーツ少年団などの利用率も増加するものと思われ、競技力の向上に貢献できる。</p>
<p>神原スポーツ公園改修整備事業</p> <p>【スポーツ振興課】</p>	<p>競技団体からの要望の高かった野球場審判室の建設を行う。</p>	<p>野球場審判室の建設を行った。建築後 20 年余り経ており、施設全体の老朽化と修繕箇所が目立ち始めている。</p>
<p>その他各スポーツ施設の維持補修</p> <p>【スポーツ振興課】</p>	<p>市民が安全に利用できる施設にするため、また、利便性の向上を図るための維持・管理・整備に務める。</p>	<p>効率的な管理に務めた。建設されて 20 年を超える施設が多く、老朽化が著しく、改築・改修が大きな課題となっている。</p>

## 重点目標に対する総合評価

競技力の向上や生涯スポーツ社会実現に向け高梁市体育協会や総合型地域スポーツクラブ「たかはしコミュニティスポーツクラブ《ピオーネ》」、吉備国際大学などと連携し、事業を展開し成果をあげている。今後は関係団体とさらに連携強化を図っていくことが重要となる。

また、市民要望の高かった神原スポーツ公園多目的広場の建設や有漢スポーツパークの改修は、利用者の大幅な増加が見込まれ、地域づくりの核としての期待も高まるため、有効な利用に向け検討が必要となる。既存の施設については、市民のニーズに応じていけるよう、今後、計画的な改修・修繕計画を策定し、年次計画に基づき改修・修繕を行う必要がある。

《重点目標》5 歴史と伝統を生かした地域文化の創造と人を育むまちづくり  
(地域文化の振興)

○重点目標の概要

高梁の自然や歴史、風土に深く関わってきた文化を大切にしながら、生涯を通じて、文化に親しむ環境づくりを進めるとともに、個性のある文化の創造を目指す。

そのために、市民の文化芸術活動の振興と、郷土の伝統文化の保存伝承や、貴重な文化財を保護・保存していくとともに、これらを活用したまちづくりを推進する。

〈施 策〉芸術文化活動の普及と振興

事業名	事業実施目標	成果・課題等
優秀芸術鑑賞 【文化センター】	高梁総合文化会館において、中央の優秀芸術を招致し、市民に質の高い舞台芸術に触れる機会や出会いと感動、また心の豊かさを実感できるステージを提供できる自主文化事業を実施する。	心の豊かさが求められている時代に、文化芸術活動を発信する拠点施設として中央の優秀芸術の招致、魅力ある文化芸術事業の推進に取り組み、誰もが音楽や演劇等を気軽に、身近に鑑賞できる機会をつくることができた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Song for Memories 公演(7/27) 入場者数 566 名</li> <li>・ イルカ公演 (8/30) 入場者数 714 名</li> <li>・ 松竹大歌舞伎公演・昼夜 2 回公演(9/19) 入場者数 1,182 名</li> <li>・ 南こうせつコンサート公演(10/23) 入場者数 829 名</li> <li>・ 上妻宏光公演(11/16)、入場者数 465 名</li> <li>・ 春風亭小朝公演(12/6)、入場者数 518 名</li> <li>・ なつかしの優秀映画を楽しむ会(2/7.8) 入場者数 90 名</li> </ul> 課題としては、チケット販売等の事業収入拡大へ、より一層の努力が必要である。
地域の創作活動の推進 【文化センター】	市民や文化団体の主体的な芸術文化活動を支援、育成し、文化芸術活動の発表の場を設け、文化活動に参加する市民同士が交流し、活動を刺激するような創造と出会いの場を提供することにより、地域からの文化芸術活動の推進や交流を促進する。	市民参加型の自主事業として、市民に文化芸術活動の発表の場を提供することにより、それらの推進や交流を促進するため次の事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 20 回三曲演奏会(6/8) 入場者数 500 名</li> <li>・ 第 19 回高梁コーラスフェスティバル</li> </ul>



		<p>(11/30) 入場者数 620 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 8 回高梁市文化講演会(1/24)</li> </ul> <p>入場者数 512 名</p>
<p>高梁市文化交流館の事業</p> <p>【文化センター】</p>	<p>高梁市文化交流館において、地域の若者の音楽活動の発表の場、交流の場を提供し、サウンドフェスティバル 2009-in たかはしを実施する。</p>	<p>地域の若者に音楽活動発表の場を提供することにより、参加者自ら舞台づくりに参加し、自らの手で舞台を企画・運営・出演する機会を与え、若者の交流の機会・創作活動の場を提供することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サウンドフェスティバル 2009-in たかはし(2/22)を開催 入場者数 217 名</li> </ul>
<p>高梁市歴史美術館（企画展・特別展の開催）</p> <p>【文化センター】</p>	<p>高梁市は歴史的人物や文化人のゆかりの地であり、豊かな歴史や文化を育んできた。こうした高梁で育まれてきた歴史、文化を体系的に県内外に広く紹介するため、高梁市ゆかりの人物や歴史を題材にした特別展・企画展を開催する。また、高梁市のいろいろな分野の美術品の鑑賞の機会を広く紹介した展覧会を開催し、高梁市独自の文化・歴史を県内外に紹介する。</p>	<p>高梁市歴史美術館において、高梁の歴史や文化を題材にした企画展・特別展を次のとおり開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展「明治維新 140 年 板倉勝静と山田方谷」(4/5～6/29)入場者数 966 名</li> <li>・企画展「景年書作展」(7/19～8/10) 入場者数 91 名。</li> <li>・企画展「比庵九十～清水比庵九十歳の作品を中心に～(8/23～10/19) 入場者数 607 名。</li> <li>・企画展「歴史美術館収蔵品展 八重籬神社のたからもの展」(10/25～11/30) 入場者数 558 名</li> <li>・企画展「アートの今・岡山 2008」(12/6～12/23)、入場者数 457 名</li> <li>・企画展「歴史美術館収蔵品展 高梁方谷会所蔵品 平木政次のデッサン」(1/10～2/1) 入場者数 167 名</li> <li>・特別展「松山征伐 140 年記念 城主交代～備中松山藩の改易・所替え～」(2/11～3/22) 入場者数 590 名</li> </ul>
<p>高梁市成羽美術館（企画展・特別展の開催）</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>企画展・特別展等を開催することにより、市民の美術に関する知識・教養の向上に寄与することを目的とする。</p>	<p>児島虎次郎作品の常設展示のほかに、春の企画展、夏の企画展、特別展、第 6 回成羽音楽祭等の多彩な企画を開催した。また、市内小中学生による「児島虎次郎を偲ぶ絵画展」も行い、成果が得られた。また美術館の建物・設備等が老朽化しており、大規模な修理が必要な時期にきている。</p>

<p>吉備川上ふれあい漫画美術館の事業</p> <p>【吉備川上ふれあい漫画美術館】</p>	<p>漫画の持つ奇想天外な発想、そこから生まれる「夢とロマン」あふれるまちづくりを実施するため体験教室・漫画グランプリ・年賀状コンテスト及び各展示会を実施し、漫画美術館への集客及び高梁市のPRを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み！ワクワク手作り体験教室 夏休み期間の土日に14日開催し424人参加者があった。</li> <li>・第18回吉備川上漫画グランプリ 「昔むかし」というテーマで募集し、全国から718点の作品が集まった。</li> <li>・第18回吉備川上漫画グランプリ優秀作品展（11/1～11/30）</li> <li>・漫・賀・年賀状コンテスト2009 「丑（うし）」というテーマで募集し全国から908点の作品が集まった。</li> <li>・漫・賀・年賀状コンテスト2009作品展示会（1/20～2/22）</li> <li>・ワクワク手作り体験教室 春休み期間に5日開催し138人の参加者があった。 全体としては、応募点数・事業参加者数等は前年並みで一定の成果がでている。</li> </ul>
<p>伝統文化の伝承</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>備中神楽及び渡り拍子の伝承を図るため、それらの保存育成団体の活動支援を行う。</p>	<p>民俗文化財としての備中神楽及び渡り拍子は、後世に伝承していく責務があり、今後も活動支援を行う必要がある。</p>
<p>文化活動の推進</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>各文化協会の地域に根付いた文化活動への支援を行う。また、文学の創作活動を奨励し、豊かな地域文化の振興を図ることを目的に「高梁市文学選奨」を実施する。</p>	<p>各地域文化協会への支援を継続していく必要がある。また、「高梁市文学選奨」を小説随筆等・詩・短歌・俳句・川柳・童謡作詞の6部門で実施した。高梁市文学選奨は、市民の文学創作活動の場として定着しつつあり、それぞれの部門とも裾野の広がりが見られる。</p>
<p>「第25回国民文化祭・おかやま2010」の開催準備</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>平成22年秋の「第25回国民文化祭・おかやま2010」に向けて、高梁市主催事業（童謡・神楽・漫画の3事業）の開催準備を進める。</p>	<p>平成20年度には、高梁市実行委員会を設立するとともに、事業別企画委員会を設置し、童謡フェスティバル、神楽フェスティバル、漫画フェスティバルそれぞれの開催要項（案）を作成した。今後は、各フェスティバルの具体的な企画等、詳細計画を立て、関係団体等との調整を図りながら、開催準備を進めていく。また、この全国規模の大会を文化芸術面だけでなく、観光や産業等にも波及させ、市民総参加で成功さ</p>

		せるためにも、市役所内に国民文化祭推進の専属組織を設け、全庁的に取り組んでいく必要がある。
--	--	---

〈施 策〉文化財の保護・保存

事業名	事業実施目標	成果・課題等
文化財等の保存整備 【社会教育課】	史跡備中松山城跡整備事業として、下太鼓の丸跡保存整備、吹屋伝統的建造物群保存地区家屋保存事業として旧片山家住宅の保存修理、防災施設整備ほか伝建家屋の保存修理を実施していくとともに、歴史的町並み保存地区の整備をする。また、天然記念物管理事業として臥牛山のサル生息地の保護管理を図る。	指定文化財の保護保存及び整備事業は、今後も永年的に継続していく必要がある。また、天然記念物の保護管理事業では、サルの専門家や有害鳥獣担当課と連携し、猿害防止対策に努める必要がある。
文化財の調査・活用 【社会教育課】	市町合併後、未整理であった市指定文化財の調査検討を進めてきたが、すべての市指定文化財の整理をし、一定の方針をだす。	旧市町指定文化財計 164 件を再調査のうえ、市指定文化財を 155 件に整理し、その取り扱いについて定めた。今後は新規指定候補を順次調査し、新たな指定を進めていく必要がある。

〈施 策〉文化施設の充実

事業名	事業実施目標	成果・課題等
市民の文化教養・生涯学習の拠点施設の充実 【高梁中央図書館】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の自発的な学習要求に応える図書館サービスと余暇の時間における学習活動の支援をする。</li> <li>・豊かな心の育成・生涯学習社会へ向け、蔵書の充実を図るため、郷土資料の収集、情報化時代の資料等幅広い資料の収集に努め提供する。</li> <li>・図書館サービスの推進と市内各地域の館、室との連携を図り読書への興味、図書館、室の PR に努める。</li> <li>・移動図書館を有効に利用し学校支援並びに読書推進活動の支援を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵書冊数 81,955 冊 内訳（一般 59,195 冊、児童 22,760 冊）</li> <li>・図書購入状況等 2,864 冊 内訳（購入 2,477 冊、寄贈 387 冊）</li> <li>・入館者数 23,855 人</li> <li>・漢籍等特殊資料整備推進事業 高梁市立中央図書館所蔵古書分類目録魚水実録、御道中御勘定帳の書き下し文等作成</li> <li>・子どもたちや成年層の読書離れに対して、インターネット等パソコンの普及との関係も課題となってくる。</li> <li>・電算化による館・室のネットワークづくりの構築を図る必要がある。</li> </ul>

<p>教養講座等の開催</p> <p>【高梁中央図書館】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の自発的な学習意欲、余暇時間の学習活動の支援をする。</li> <li>・子育て支援及びボランティア活動の支援並び生涯学習支援をする。</li> <li>・朗読ボランティアの活動支援をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お話ボランティア研修会共催（11/29） 絵本作家 伊藤 寛 講演会 一般含め約 60 名参加</li> <li>・こども読書支援事業（2/21） （子ども体験学習工作等） 工作絵本作家 竹井史郎 実演・講演会 親子で 29 名参加</li> <li>・古典文学講座 赤羽 学</li> <li>・ストーリーテリング講座 森元喜美江 古文書教室、市史を読む会、朗読の会等 毎月 1 回開催し 5 名～15 名の参加</li> <li>・毎年、各講座の会員募集と若年齢層への文化の引継ぎを推進する必要がある。</li> <li>・こども支援の読書ボランティア等の充実を図る必要がある。</li> </ul>
<p>高梁市郷土資料館収蔵資料の整理</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>市民から寄贈された約 3000 点の収蔵品があるが、民俗資料を中心に系統だった整理、展示替えを実施する。</p>	<p>吉備国際大学と連携して資料の展示替え、修復等を行った。今後は収蔵資料をデータベース化するとともに、郷土資料館が市民の生涯学習の場として活用できるように整備していく必要がある。</p>
<p>近代高梁人物記念館（仮称）整備に向けた調査・研究</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>近代高梁人物記念館（仮称）整備検討委員会を設置して、記念館整備に向けて、調査や具体的内容の検討を行う。</p>	<p>整備検討委員会を 2 回開催し、検討したが、具体的な整備方針までには至っていない。今後、さらに協議を重ね平成 23・24 年度で整備することとする。</p>

### 重点目標に対する総合評価

<p>重点目標である「地域文化の創造」を目指して、市民の文化芸術活動の振興と、郷土の伝統文化の保存伝承、貴重な文化財の保護・保存を推進した。事業実施により目標が達成でき、成果が表れたが、さまざまな課題も判明した。こうしたことを踏まえ、今後もさらなる地域文化の振興を図ることが重要である。</p>
---